

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (沖縄)	◎	コンビニ（経営企画担当）	単価の動き	・ 1店舗当たりの来客数は前年と比べやや減少しているものの、客単価の伸びが大きく、売上を押し上げている。
	◎	その他専門店 〔陶器〕（製造）	販売量の動き	・ 取り扱っているアクセサリーの売行きが増加している。
	○	百貨店（経営担当）	来客数の動き	・ 地元客による母の日ギフト需要やインバウンドが増加している。
	○	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・ 競合店の閉店により、一部店舗では客の流入が増え、売上が大きく伸長している。また、3か月前と比較して来客数が増加していることから、景気はやや上向いているとみている。一方、父の日商戦は苦戦し、関連商品の売上が伸び悩んだが、結果として、前年実績を上回っている。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・ 行楽シーズンにより、来客数も増加しており、客単価も前年度を上回っている。
	○	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・ 新型車の投入により販売は伸びているものの、物価高騰の影響もあり、想定よりは伸びていない。
	○	その他専門店 〔書籍〕（部長）	販売量の動き	・ 梅雨明けが例年より早かったことから、外出機会も増え、繁華街はにぎわっている。
	○	通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・ 6月の買換えサイクルに夏のキャンペーンとボーナスが重なり、新規と機種変更の数量が増えている。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・ 街中は飲食店が多くなる一方で、物販は段々と減少しており、大変苦戦しているという話も聞いている。双方のバランスが厳しくなってきたとみられる。
	□	一般小売店 〔酒〕（店長）	お客様の様子	・ 景気回復が不十分で、米も行き渡らず、物価高騰している。改善策も特にない。
	□	家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・ 例年より梅雨明けが早く、エアコンの動き出し自体は早いですが、沖縄県が前年実施した省エネ家電買換えキャンペーンの反動減があり、エアコン、冷蔵庫共に大幅な前年割れになっている。
	□	観光型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・ 大きな変動要素はみられない。
	□	旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・ 前年並みの販売量で取扱高も多少増えているが、その分固定費が増えているため、実際の収支は同程度か、若しくはマイナス気味である。
	□	住宅販売会社（役員）	販売量の動き	・ 建築費の高騰が続いており、新築物件の供給は減少傾向にある。しかし、購買意欲はみられるため、手頃な価格帯の中古市場に客足が向いている。
	▲	スーパー（店舗管理）	来客数の動き	・ 生鮮食品の値上げによる買い控えが発生している。食品類の販売数は低迷しているものの、米の売上が170%前後で上昇したことが底上げとなり、食品全体では売上は上がっている。他方で、嗜好品類を中心に前年割れが続いており、今後継続するとみている。また、備蓄米の販売に後れを取ったため、大手の店舗に客が移動している。
	▲	一般レストラン（代表者）	来客数の動き	・ 来客数が大きく減少している。音楽イベントなど行い、どうにか集客しているが、平日の来客が少なく困っている。
	▲	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・ 明らかに販売量が減少しており、特に商業施設での販売イベントで減少している。商業施設自体の客数減少が影響しているとみている。
	×	その他飲食店 〔バー〕（経営者）	来客数の動き	・ 今月は、週末の来客数が、平日を下回っている。近隣の飲食店も同じような状態であると聞いており、街全体で静かな気配がうかがえる。
	×	観光型ホテル（企画担当）	販売量の動き	・ 3月の販売室数が前年比7%増加なのに対し、6月は前年比27%減少となり、マイナスに転じている。
企業動向 関連 (沖縄)	◎	－	－	－
	○	食料品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・ 6月の買物客の動きが鈍く、猛暑や米価格高騰による買い控えなど様々な要因が考えられるため判断が難しい。一方で、観光客の増加による需要は好調に推移している。

（沖縄県）	○	建設業（経営者）	取引先の様子	・県外から沖縄へ出店するための建物建築に関する問合せが多く、沖縄への出店意欲があるとみている。また、マンションの建築計画や住宅見学会での集客も多い。ただし、住宅に関しては、ＲＣ住宅は価格が高く多くは木造へ流れている。
	○	輸送業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・前年同月と比べ増収増益である。
	□	窯業土石業（取締役）	受注価格や販売価格の動き	・受注は公共・民間とも若干増加傾向であるが、原材料価格の高止まりにより利益率は減少している。
	□	会計事務所（所長）	それ以外	・景気は安定して推移している。一方で、国内の物価高の影響により、可処分所得への影響が不透明である。
	▲	＊	＊	＊
	×	－	－	－
雇用 関連 （沖縄）	◎	－	－	－
	○	学校〔専門学校〕（就職担当）	採用者数の動き	・前月に引き続き2026年卒向けの新規求人、2027年卒向けのインターンシップ情報が多く出ている。それに加え、卒業生向けの中途採用の求人数が増えている。
	□	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・求人数は、既存客の派遣依頼の更新が多く、新規客も幾つか出ているが、全体的に大きく伸びず、現状維持である。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年同月と比較して、求人数は減少しているが、求人者から人手不足の相談は多い。
	□	学校〔大学〕（就職支援担当）	それ以外	・生活消費の抑制は続いている。
	▲	求人情報誌製作会社（審査）	求人数の動き	・梅雨時期は建設、農業、イベント関連など屋外作業系の求人数が一時的に減少する。一方、人手不足が続く観光、飲食業は継続募集が重なり微増傾向である。全体としては、求人数が微減している。
	×	－	－	－